



卒業証書・学位記授与式／修了証書授与式



短期大学 入学式／専攻科介護福祉専攻 入学式

2021年度 聖句

「主において常に喜びなさい。
重ねて言います。喜びなさい。」

(フィリピの信徒による手紙第4章4節)



CONTENTS

学位記授与式・修了証授与式	2
入学式を迎えて	4
TOPICS	6
卒業生の活躍／地域連携について	7





第55回学位記授与式・専攻科修了証授与式

第55回卒業証書学位記授与式・第11回専攻科修了証書授与式を終えて

学長 佐藤 守男



2020年度卒業式・修了式は新型コロナウイルス感染症拡大のため、予防

対策を講じながら行われました。例年3月17日というときまだ寒いのですが、この日は暖かく、今にも桜の花が咲きそうな穏やかで、あたかも和泉の卒業式・修了式を祝福しているかのようでした。その時の告辞を紹介します。

本日(2021年3月17日)、「和泉短期大学児童福祉学科第55回卒業証書・学位記授与式」並びに「専攻科介護福祉専攻第11回修了証書授与式」を行いますこと、和泉短期大学の真の創立者であります神様に心より感謝申し上げます。

児童福祉学科193名、専攻科介護福祉専攻14名の皆さん、ご卒業・ご修了、おめでとうございます。本学を代表致しまして、これまでの皆さんの努力と研鑽とを心より讃えたいと思います。

また、この日まで長きにわたり、ご子息ご息女の勉学を支えてこられましたご家族の皆様方にも、心よりお喜び申し上げます。おそらく、このコロナ禍にあります、ご家族の皆様方はわが子が卒業・修了されることにほっとしておられることでしょう。また、同時に、我が子の旅立ちを目の前にして、

先行き不透明なこの時代に、不安を感じておられることと存じます。しかし、ここにおられる皆さんは、この和泉短期大学で身に付けた「専門的な知識や技術」を糧として、目の前にある問題に積極的に取り組み、隣人と共に歩んでくれることと思います。

さて、本学はこの3月で19623名の卒業生を世の中に送りだすこととなります。そして、皆さんの先輩達は全国に散らばり、それぞれの住んでいる地域のエッセンシャルワーカーとして、よい働きをしてくれています。このことは、本学にとって、誇るべきことであり、また、感謝すべきことでもあります。和泉で学んだ皆さんも、先輩たちと同様、社会に貢献してください。ものと信じております。

ところで、皆さんは、本館入り口の壁に、次のようなラテン語で刻まれたパネルがあることをご存知でしょうか。『願わくは、このキリストの泉から若者たちの清らかさと 愛とがわき出でんことを』この言葉には、本学で学ぶ学生達への切なる願いが込められています。それは、「福祉を必要とする子ども達の保育・養護に献身しようとする者や幼児教育に従事しようとする者が、キリスト教精神に基づいて、広く確かな教養と専門的な社会福祉理論と技術を身につけ、様々な児童福祉施設、社会福祉施設及び幼稚園で指導にあたることのできる専門職員となつてほしい」という願いがこの言葉に込められているのです。そしてまた、こ

のことが、本学の目的であり、使命でもあります。

私は、ここにいる皆さんが、和泉で学んだ「専門的な知識や技術」を生かし「子ども達の幸せのために、そしてまた、福祉を必要としている人達のために」という和泉短期大学の使命を、共に担ってくださることを、願ってやみません。

最後になりました。ご家族の皆様方には、これまで父母会の活動を通して、本学のために様々なご支援とご協力を賜ってまいりました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

長い学びの時間が終わり、新しい人生へと歩みだす、卒業生、修了生の皆さんとそのご家族の皆様、そして、ここにおられます皆様方の上に神様の豊かな祝福がありますようお祈り申し上げます。告辞とさせていただきます。

卒業式・修了式は、午前・午後と2回に分け、例年より短い時間で行われました。式の後には各グループに分かれ、集合写真を撮り、最後のグループミーティングを行って、解散となりました。卒業生、修了生の皆さん、いつでも和泉に遊びに来てください。我々教職員は皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

2020年度 表彰者

眞鍋記念奨学金(後期)

1年 角井 風香
(県立相模原青陵高等学校 出身)



この1年間、周りの方々に支えていただきながら、様々な学びを得ることができました。特に5日間の保育実習が印象に残っています。大変なこともありましたが、子どもたちの笑顔が励みになって精一杯、頑張ることができました。来年度も自分らしく頑張っていきたいです。

1年 門馬 花
(東海大学付属相模高等学校 出身)



後期は保育の基礎的な学びから、実習を通して、実践的な学びまで多くの知識を得ることができました。このような世の中の状況でリモート授業もありますが、先生や友だちと関わることができ対面授業の時間をより大切に、今後も勉学に励むことはもちろん、日々、人としても成長できるよう頑張ります。

2年 小俣美由紀
(県立相模原総合高等学校 出身)



和泉での2年間は実習やボランティア活動、OCスタップなど様々な経験から学べた2年間でした。コロナ禍で大変な中、学びを提供してくださった先生方、辛いときに支えてくれた友人には感謝しています。今後は日々の出会

い・学びを大切にし、和泉での学びも生かしながら精進していこうと思います。

2年 川野 翔太
(県立中央農業高等学校 出身)



2年生になってから生活が大きく変わってしまいましたが、その中でも授業や実習が出来たことに感謝いたします。この2年間は私にとって多くの学びがあり、全ての出来事が宝物になりました。今後は、保育者として励んでいき学び続けていきます。

専攻科介護福祉専攻 渡邊 里菜
(都立小川高等学校 出身)



前期に続き後期でも受賞することができ、大変嬉しく思います。一年間介護という新たな学びを通して、自分自身の知識をより向上させることへと繋げることが出来ました。学生生活の中で培ったことを忘れずに、今度は職員(施設)という目標で新たな発見をしていきたいです。

〈学生顕彰制度〉

中島武夫記念賞

専攻科介護福祉専攻 下谷 歩実
(御殿場西高等学校 出身)



この度はこのような賞をいただき大変嬉しく思います。和泉での3年間はキリスト教の教えと共に成長するこ

とができたと感じています。就職しても和泉で学んだ精神を忘れずに、愛をもって奉仕していきたいと思っています。ありがとうございました。

讃岐和家記念賞

2年 陽田千賀子
(都立町田総合高等学校 出身)



和泉での2年間は実践的な授業やサークル、友達と過ごす時間等とても充実した2年間でした。新型コロナウイルスの流行により、人との関わりが制限されている今だからこそ、和泉で学んだことを生かし、自分でできることを考え、今後もより学びを深めていきたいです。

学生ボランティア活動 奨励奨学金

2年 若林 萌音
(フェリス学院高等学校 出身)



和泉を通しての2年間を振り返ると、様々な事が重なりあって自分の考えや学びを深めていたんだと感じました。今年度はボランティアをする上でも人との繋がりを感じにくい状況でしたが、自分が出ることがはなんだろうかと考える良い機会となったと思います。和泉での経験を糧に、これからも学び続けていきます。2年間ありがとうございました。

学長賞(後期)

1年 中井 涼花
(県立上溝高等学校 出身)



オープンキャンパスの学生スタッフとして活動するなかで、相手の気持ちをくみ取ることの大切さを学びました。2021年度のオープンキャンパスでも高校生の気持ちをよく考え行動すると共に、学生スタッフでの経験を実習等にも活かしていきたいと考えています。

和泉短期大学学生会会長

2年 相良 七葉
(県立神奈川総合産業高等学校 出身)



委員会活動で学長賞を頂けたことを大変嬉しく思います。和泉短大での2年間で勉学はもちろんのこと様々な活動に取り組みとても良い2年間になりました。また、その中でも委員会とはとても多くのことを学ぶことができました。和泉の生活で学んだこと、楽しかったことを糧に保育者として日々前進していきたいです。



2020年度後期 学修奨励奨学金奨学生(8名)

遠藤 寧音 / 片野 沢音 / 鴻巣 麗 / 白井 琴音 / 中村 美友羽 / 松本 紗弥 / 宮田 菜央 / 吉澤 麗音

第57回入学式を迎えて



新入生のことば



私は和泉を受験する前までに二つの職業で悩んでいました。一度は保育者と決め和泉に合格したものの、入学するまでは、この選択が正しかったのか悩んでいました。しかし、和泉に入学して1ヶ月弱たちましたが、私は授業の中で保育の

児童福祉学科 羽部 日和
(県立橋本高等学校出身)

学びの魅力を日々感じています。保育の学びは保育者になる者としては欠かせないものですが、将来親になる人にも知って欲しい知識だと思いました。今は保育者の仕事を選んでとてもよかったですと思っています。これから2年後には、子どもや保護者の方に笑顔で安心して頼ってもらえる保育者になるために、日々努力していきます。



私は、高校生のとき選択科目で幼児教育を取っていました。幼児教育の授業を通し保育士は向いていないと思います。夢を一度断念しました。ですが子ども

児童福祉学科 吉田 茉那
(県立城山高等学校出身)

と関わる仕事は幼稚園教諭や保育士だけではなく、院内保育や乳児院、施設などでも関われると知り、もう一度幼児教育の道を進もうと思ひ、和泉短期大学に入学しました。この2年間で、子どもたちを笑顔にできる先生を目標に学びを深めていきたいです。



私が専攻科介護福祉専攻に進むきっかけになったのは、1年生の施設実習で障がい者支援施設に行ったことでした。そこで、出会った利用者の方達は社会の光になろうと頑張っていました。

専攻科介護福祉専攻 大筋果菜子
(県立相模原総合高等学校出身)

私もそのような人達の役に立ちたいと思うようになり、その為には知識と技術が今より必要だと考え専攻科に進学することを決めました。児童福祉学科で学んだことも忘れず、自分が納得できるような成長を果たすために日々精進していきたいと思ひます。

主の召しに応えて

チャプレン (准教授) 坂井 悠佳



キリスト教会は教育のわざを大切にしてきました。

キリスト教学校は、キリスト教

仰に基づいてこそ教育の目的を達することができるとの確信に立ち、教育のわざに仕えて参りました。保育・福祉の担い手を養成する本学においては、神と人とを愛し、神と人とに仕えるというキリスト教信仰に固く立ち続けることは、何にも増して重要でありましょう。キリスト教学校としての本学のわざに仕えるのがチャプレンです。

この度、主なる神様の召しにより、和泉短期大学のチャプレンの務めを与えられ、本学のキリスト教信仰を導くという重い務めを担うこととなりました。神様のお導きと皆様のお祈りに支えられて、与えられた務めを全うして参りたいと存じます。どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

和泉短期大学に入学した多くの学生にとって最初にキリスト教信仰に触れる機会と言えるのが、礼拝として挙行される入学式と宗教部オリエンテーションです。宗教部オリエンテーションでは、学園生活の土台となるチャペルアワーやキリスト教活動について説明いたしました。本学の学生は皆、保

育や福祉の担い手となるという使命を与えられ、神様によって選ばれて入学したので。学生の皆さんには、これからの学園生活において、神様に使命を与えられたことを確信して喜びをもって学びに励んでいけるよう、チャペルアワーやキリスト教活動に積極的に参加していただきたいと思えます。そのための働きを担うことができればと願っております。

キリスト教信仰とは、イエス・キリストを与えてくださるほどに私たちを愛される主なる神様との関係において生きることです。キリスト教信仰に触れるとき、私たちの生き方は大きく変えられていきます。神様からの愛を知ったとき、まず神様を愛する者とされ、さらにその愛で自分と隣人を愛し、自らに与えられた賜物を他者のために用いる働きへと動かされていくことでしょう。スクールモットーに表されるように、イエス・キリストに倣って愛と奉仕の精神に満ちた学生が、保育・福祉の現場へと遣わされていくことが、本学に託された重大な務めです。本学がこの使命を果たしていくために主に召されたと信じて、キリストの愛に満ちたこの学園で、学生・教職員の皆様と共に歩んで参りたいと存じます。

2021年度 新入生研修会

4月6日(火)和泉短期大学の新入生研修会を開催しました。「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」が本学の建学の精神です。和泉短期大学での学生生活の始まりに、今後の学びの礎を培うためのプログラムです。

第一部は相模中央キリスト教会音楽主事 江原美歌子先生による『賛美歌ってどんな歌?』と題した音楽講演会でした。幼少期に幼稚園教諭になりたかったと話す江原先生。ほとんどが初めて賛美歌に触れる学生たちでしたが、先生の解説とともに、賛美歌やこども賛美歌を、十時節子先生が奏でるピアノとともに紹介してもらいました。先生の美しい歌声は、学生たちの心に豊かに響きました。

第二部の宗教部オリエンテーションは、坂井悠佳チャプレン、横川剛毅宗教部長により行われました。学生生活を支える礼拝(チャペルアワー)についての解説や、パイプオルガンの豊かな響きとともに礼拝を体験しました。さらに和泉短期大学におけるハンドベル、学生聖歌隊などの活動が紹介され、研修会を終えました。



TOPICS

同窓会いずみ第11回通常総会を開催

2021年2月27日(土)和泉短期大学 1号館 101教室にて、2020年度 同窓会いずみ第11回通常総会を開催し、17名の参加がありました。

学校法人和泉短期大学土橋正文事務局長による開会祈祷で始まり、伊藤忠彦理事長挨拶、佐藤守男学長挨拶、同窓会いずみ遠藤陽子会長挨拶に続き、2020年度の活動報告と中間決算・中間監査報告、2021年度の活動計画(案)、予算(案)について審議し、全て原案どおり承認されました。

通常総会後予定していた研修会は、新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止のため、2020年12月26日に櫻井奈津子教授最終講義に内容を変更して実施しました。



2020年度第5回SD研修会

2021年3月10日(水)9:50~11:00 2020年度第5回SD研修会を行いました。テーマは「大学事務職員スキル講習会」。産学共同事業により、ネットヨタ神奈川株式会社様と本学をオンラインで結び、リアルタイムで講義・グループワークが行われました。2021年度に採用となる職員を含む27名全員が参加して行いました。

テーマ：「大学事務職員スキル講習会」

ネットヨタ神奈川株式会社活動開発室 富塚拓男氏から、和泉短期大学の講習会をネットヨタ神奈川株式会社様が実施する理由として、SDGsへの取り組み、地域連携の一環として共に成長していきたいとのスタンスによるものと説明がありました。

同社人財育成室 春山梢氏から、同社が社員教育として行っている接客、接客、おもてなし、「ほう・れん・そう」の実行について研修を受けました。

講義の中盤では、グループワークが行われました。5つのグループになり、「心遣いのある所作を身につけましょう」をテーマに、ネットヨタ神奈川様が実践しているお辞儀、書類の受け渡し、椅子の座り方、入退室の所作について研修を受けました。

テーマ：「苦情対応」

お客様相談室 須藤高彦氏から、苦情対応の原則、初期対応のポイントと流れ、解決に向けた説明、結果の検討と反省、再発防止について研修を受けました。相手の立場に立って考える、誠実に言葉は丁寧など、正確な記録を残すなど大変重要なポイントを説明していただきました。

ネットヨタ神奈川株式会社様には貴重な研修の機会を設けていただきました。今回の研修を今後の学校運営に生かしてまいります。



第33回社会福祉士国家試験結果発表

第33回社会福祉士国家試験の結果が、2021年3月15日(月)に発表されました。

和泉短期大学の卒業生は、福祉系大学等ルート(福祉系短大等+実務経験)で受験し、合格者は2名でした。受験者が10名以上の福祉系短大等ルートの合格率では、本学は全国15位(18.2%)(55校中)です。全体の合格率は29.3%です。働きながら仕事で忙しい中での国家試験受験は、日々の努力の積み重ねと存じます。

本学は、社会福祉士国家試験受験資格に必要な指定科目(18科目)を履修できる社会福祉士コースを1988年4月から2002年度まで設置し、現在は休止しています。社会福祉士国家試験受験資格を取得した本学の卒業生は、卒業後2年以上の指定施設での実務経験を経て、毎年難関な国家試験にチャレンジしています。

今後もソーシャルワーカーとして貢献、活躍されることを心からお祈り申し上げます。

第33回介護福祉士国家試験結果発表(14名全員合格)

第33回介護福祉士国家試験の結果が、2021年3月26日(金)に発表されました。

和泉短期大学 専攻科 介護福祉専攻の学生は14名受験し、全員合格しました。合格基準は総得点125点に対し、得点75点以上の方です。全国の合格率は71.0%でした。和泉短期大学は、昨年に続き3年続けて合格率100%でした。

コロナ禍の苦しい1年間、一生懸命、真摯に授業、実習そして国家試験対策に取り組んだ成果です。



「光触媒除菌・脱臭装置」を教室に設置

2021年4月1日(木)新型コロナウイルス感染症拡大防止に備えて安心・安全な環境で授業を行うために「光触媒除菌・脱臭装置」を小教室[1号館(101教室、203教室、210教室、212教室、303教室、304教室、305教室、事務室、会議室)、2号館(実習サポートセンター内)]合計10室に各2台設置しました。

「光触媒除菌・脱臭装置」は、ウイルス、有害物質、細菌などに汚染された空気を光触媒技術により分解し、清浄化された空気にする機械です。新型コロナウイルスに対する感染力の抑制効果も確認されており、多くの病院等で利用されています。

本学はキャンパスの新型コロナウイルス感染防止の徹底と清潔・換気を心がけています。



2020年度 第10回ベストオブスタッフ賞(事務局賞)

2020年度の1年間未曾有のコロナ禍で、幼稚園教諭の経験を活かし積極的に学生及び受験生ひとり一人の声を聴き、愛のある血が通った対応に努めた姿勢を高く評価しベストオブスタッフ賞として、事務局長から「賞状と金一封」を贈りました。表彰職員は下記の2名の方々です。

教育・学習支援ユニット(実習サポートセンター) 十時 愛美さん

この一年を振り返ると母校とはいえ事務職員として業務に携わり、書類の多さや毎日の電話対応、慣れない学生へのサポート、会議では馴染みの無い言葉が飛び交い驚き戸惑いました。しかし教職員の皆様の温かいお声がけやご指導、そして学生の一生懸命な姿を見て、私自身励まされこの一年を乗り越えることができました。まだまだ未熟ですが、この賞をいただいたことを励みに感謝の気持ちを忘れずに業務に邁進してまいります。

広報渉外ユニット 天野 莉那さん

今回はベストオブスタッフ賞という素敵な賞をいただき、大変恐縮です。またこの賞の受賞にあたり、まずは日々たくさんの場面でお支えいただいた教員・職員の皆様へ心より感謝申し上げます。コロナ禍で、広報職員として高校生や保護者の方など多くの方に和泉の魅力をお伝えするにはどうしたらよいか、日々試行錯誤してきました。ただ和泉の魅力を発信するのではなく、相手(高校生)の気持ちに寄り添う大切さをさらに実感する毎日でした。「寄り添い、信頼される人」これからもこの言葉を忘れずに、卒業生として、職員として一層努力してまいりたいと思います。



左より 天野莉那さん 土橋正文事務局長 十時愛美さん

卒業生の活躍 (第23回)

社会福祉法人相模和泉福祉会 和泉保育園
(二〇一九年三月 卒業生) 久富 朋代さん

保育士になり、今年で3年目になります。

自身の3人の子どもたちの乳幼児期の子育てを通して、その面白さや奥深さ、大切さ、そして何よりも可愛さを感じ、それ以来、乳幼児保育・教育に興味を持つようになりました。4年前、様々なことが重なったこともあり、本格的に保育を学ぶ決心をし、保育士資格を取得するために和泉短期大学に社会人枠で入学しました。当初は、幼い3人の子どもを育てながらの家庭と勉学の両立に対する不安もありましたが、幸いにも国際ソロプチミスト相模などいくつかの奨学金の支援を受け、安心して

勉強に励むことができました。また、約20歳の年の離れた若い学生たちとの学びはとても勇気があるものでしたが、彼女たちの無邪気さや一生懸命さ、素直さに良い刺激を受けました。そして、数少ない同年代の学生たちとの出会いはかけがえのないものとなりました。

去年に引き続き、今年も同じ4歳児の担任になりました。以前、ある保育士の先輩から「たとえ同じ年齢でも決して同じはない」と聞いたことがありました。まさに今、その言葉を実感しているところです。子どもたちとの関りや保育の中で、去年は上手くいったことが今年も通用しない、若しくは、去年はうまくいかなかったけど、今年はずっとうまくいく、などの時のクラスにカラーがあることを知りました。試行錯誤の日々もありますが、そのカラーを色鮮やかにまとめあげるため、これからも一人ひとりに寄り添い、また様々なたくさんの経験を通して子どもたちの成長を支えていきたいと思っています。

保育士としては遅咲きですが、好きな仕事ができることへの喜びはひとしおです。和泉短期大学での2年間の学びが今に生き、これからも生き続けるのだと思います。



相模原市地域連携

相模原市地域活動・市民活動ボランティア認定証授与



児童福祉学科2年
若林 萌音さん
＜ボランティア修士＞



児童福祉学科2年
今村 美希さん
＜ボランティア修士＞



児童福祉学科2年
大箭 果菜子さん
＜ボランティア修士＞



児童福祉学科2年
三沢 望月さん
＜ボランティア学士＞



児童福祉学科2年
佐藤 巧さん
＜ボランティア学士＞



児童福祉学科1年
三瓶 美智恵さん
＜ボランティア学士＞

相模原市民を対象とするボランティア活動です。相模原市内の施設・団体を拠点とした活動だけでなく、相模原市内の施設・団体による行事の引率等で市外に出かける活動、本学の実施している「はっぴい」、「すまいいい」、オレンジリボンの配布など、様々な活動を含みます。2020年度は新型コロナウイルスの影響であまり活動できませんでしたが、本学からは6名が“ボランティア修士(90時間以上)”3名、“ボランティア学士(30時間以上)”3名に認定されました。和泉短期大学はこれからも学生とともに地域に貢献してまいります。

「国際ソロプチミスト相模」2020年度Sクラブ、シグマソサエティ助成金贈呈式

2021年2月19日(金)和泉短期大学 理事長室にて、『国際ソロプチミスト相模』(本間セツ会長)から和泉短期大学(土橋事務局長)に対し助成金の贈呈式がありました。

国際ソロプチミスト相模から本学に対しての助成金(60,000円)は、2005年度から始まり本年度で16回支援していただいております。

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ハンドベル活動が思うように出来ませんでしたが、今後のハンドベル・クワイア活動に使用させていただきます。



2020年度『教育環境充実資金募金』報告

2020年度「教育環境充実資金募金」については、3号館和泉クラーク・ホール外壁等防水工事、3号館空調設備チラー(2台)交換工事、教育活動等に対して、1,395,000円を充当させていただきました。

ここに2020年度教育環境充実資金募金報告を致します。多くの皆様にご賛同いただき、心から感謝申し上げます。

募金目標額 10,000,000円
募金期間 2020年6月1日～2021年3月31日

寄付者一覧(敬称略) <2021年2月16日～2021年3月31日>
国際ソロプチミスト相模 会長 本間 セツ
遠藤 陽子 以上2件
ご寄付者総数 60件
寄付金総額 1,395,000円
募金対象事業 3号館空調設備チラー(2台)交換工事
3号館和泉クラーク・ホール外壁等防水工事
その他教育環境改善費他

2020年度 和泉短期大学『愛のいずみ基金奨学金募金』報告

2020年度「愛のいずみ基金奨学金募金」報告を致します。多くの皆様にご賛同いただき、心から感謝申し上げます。

募金目標額 3,000,000円
募金期間 2020年6月1日～2021年3月31日
寄付者一覧(敬称略) <2021年2月16日～2021年3月31日>
小澤 加代子/小野 英子 以上2件
ご寄付者総数 68件

寄付金総額 1,345,000円
募金対象事業 経済的事情により修学困難な学生を支援するための本学独自の給付型奨学金基金
奨学金実績 2020年度は、給付条件に合う学生がいな
いため頂きましたご寄付は2021年度に繰
り延べさせていただきます。



広報渉外ユニット 松倉 理沙

私は本学卒業後、保育の面白さとやりがいを感じる幼稚園教諭の職を経て、職員として本学へ帰ってきました。学生たちが人との繋がり温かさや素晴らしいさを感じながら夢を叶える姿はさらさらしてあり、和泉の良さを再び実感しました。私や卒業生にとっては第二の家のように心が安らぐ場所です。大好きな母校の魅力を広報渉外ユニット職員として伝えることができたこと、本当に幸せです。今後は、愛と奉仕の精神を持って子育てに励みたいと思います。



実習サポートセンター 助教 渡部 美佳

保育者になるために欠かすことができない学びのひとつである「実習」に深く携わらせていただいた2年間でした。コロナ禍の中でも多くの実習園の皆様から「和泉の実習生でしたらお引き受けしますよ」と温かいお言葉をいただきました。実習園そして地域の方々との強く固い絆が和泉の土台にあることを実感しておりました。
在職中お世話になりました皆様、たくさんのお力添えをいただきまして、ありがとうございました。益々のご活躍をお祈り申し上げます。



准教授 平沼 晶子

児童福祉学科の専任教員として、4年間大変お世話になりました。社会への巣立ちに向けた大切な学びの時に携わる責任の重さを感じながらも、学生の皆さんと共にあることは私にとって喜びでした。そして、目標に向かって日々成長していく和泉生からは、多くを学ばせていただきました。また、教職員の皆様にはいつも温かく支えていただき、感謝の気持ちを言葉では言い尽くせません。和泉短期大学で経験させていただいた一つひとつを大切に、今後も歩んでまいりたいと思います。ありがとうございました。



チャプレン(教授) 西田恵一郎

人生にはいくつもの節目があります。今、私は最後の節目を迎えているのだと思います。この時までの五年間を和泉短期大学で過ごすことができ、それは大きな恵みでした。学生たちとのこの時間は、この上なく楽しい時であり、学びと成長の時でした。同時に、次のステージへの準備の時でもありました。主キリストにより一層お仕えるための準備期間だったのでしよう。「生涯現役、生涯キリストの僕」と願う小僕の次のステージは何でしょう。



教授 櫻井奈津子

児童養護施設在職中、同僚に何人も本学の卒業生がいましたし、豊福先生には施設の社会化に関する研究会でご指導をいただくなど、和泉短期大学は私にとって身近に感じられる養成校でした。多くの卒業生が本学での教養をベースに実践現場で活躍している姿に励まされながら、そして関係者の皆様からのお支えをいただき、22年間という長きにわたって保育者養成に携わることができましたことを、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

退任あいさつ

2020年度末で退任された非常勤の先生方(敬称略)

<児童福祉学科>

片山 知子(2019年4月～2021年3月)<保育者論、保育内容総論>、齋田 真理(2020年4月～2021年3月)<子どもの食と栄養I、子どもの食と栄養II>
竹内あゆみ(2020年4月～2021年3月)<保育内容総論>

<専攻科介護福祉専攻>

古明地和子(2010年4月～2021年3月)<障がい者の生活支援>

永年、和泉短期大学の教育に貢献していただき感謝いたします。